

2026年2月19日

公益社団法人全日本病院協会  
会長 神野 正博 様

公益社団法人日本理学療法士協会  
会長 斉藤 秀之  
一般社団法人日本作業療法士協会  
会長 山本 伸一  
一般社団法人日本言語聴覚士協会  
会長 内山 量史

令和7年度補正予算および令和8年度診療報酬改定による  
医療機関等に従事する理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の処遇改善について（お願い）

平素より理学療法士・作業療法士・言語聴覚士（以下、3療法士）に係る活動にご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、先般成立した令和7年度補正予算において、医療従事者の処遇改善を支援すること等を目的とした「医療・介護等支援パッケージ」が決定いたしました。そのなかで、3療法士について、1人当たり6万円の賃上げを十分実現し得る規模の予算が確保されたと考えています。また、令和8年度診療報酬改定においては、医療従事者の人材確保に向けて処遇改善が基本方針にも含まれ、改定率は本体+3.09%、うち、賃上げ分 +1.70%（令和8年度及び令和9年度の2年度平均。令和8年度 +1.23%、令和9年度 +2.18%）が決定されました。さらに、介護報酬および障害福祉サービス等報酬の期中改定においては、介護・福祉職員のみならず、介護・障害福祉従事者を対象に、幅広く月1.0万円（3.3%）の賃上げを実現する措置を実施することとなりました。

補正予算における賃上げが3療法士に確実に配分されること、また3つの報酬改定において整理された現場で働く3療法士をはじめとした医療従事者の賃上げが「確実に」実施されるよう、またそれにより3療法士の他産業への流出を防ぐことで、リハビリテーションが必要な方に十分なサービスが提供されるよう、特段のご配慮をお願い申し上げます。

貴団体におかれましては、本件を会員各位にご周知いただくとともに、今後ともリハビリテーション専門職団体の活動について、ご高配いただければ幸いです。

2026年2月19日

公益社団法人全日本病院協会  
会長 神野 正博 様

公益社団法人日本理学療法士協会  
会長 齊藤 秀之  
一般社団法人日本作業療法士協会  
会長 山本 伸一  
一般社団法人日本言語聴覚士協会  
会長 内山 量史

急性期および包括期におけるリハビリテーションの365日提供体制構築の実現に向けた  
リハビリテーション専門職の配置の推進について（お願い）

平素より理学療法士・作業療法士・言語聴覚士（以下、「3療法士」）に係る活動にご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、先般、中央社会保険医療協議会での議論を経て答申が示されました令和8年度診療報酬改定（以下、「本改定」）において、看護職員に加えて、3療法士を含む多職種が専門性を発揮しつつ病棟で協働する体制を評価する「看護・多職種協働加算」が新設されました。また、令和6年度診療報酬改定で新設された「リハビリテーション・栄養・口腔連携加算」については、本改定において、さらなる評価と地域包括ケア病棟入院料においても評価されることとなりました。

このように、リハビリテーションの365日提供体制の実現に向けて3療法士を病棟に配置し、多職種と連携をしながら患者の日常生活動作の維持・改善を図ることは、患者の療養の質の向上はもとより、在院日数短縮などの医療経済的観点からも大きな意義を有するものと認識しております。

また、発症早期からのリハビリテーションの推進についても、本改定では「早期リハビリテーション加算」の見直しに加え、土日祝日のリハビリテーション提供を評価する「休日リハビリテーション加算」が新設されました。早期リハビリテーションの効果については多くのエビデンスが示されており、その実施の有無が患者の機能予後を大きく左右することは広く知られております。

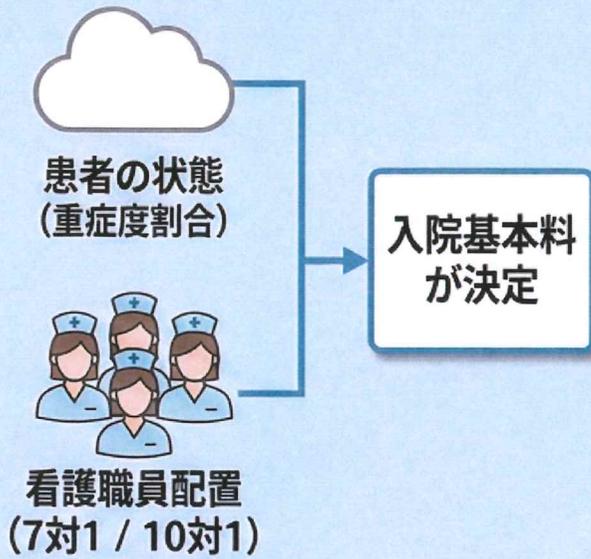
つきましては、全国いずれの地域においても患者が早期からリハビリテーションを受けられるよう、土日祝日を含めた365日のリハビリテーション提供体制および、各医療専門職が専門性に基づいて業務を行う体制の構築に、格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

また、貴団体におかれましては、本件につきまして会員の皆様へのご周知をお願い申し上げますとともに、今後ともリハビリテーション専門職団体の活動に対し、変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、何卒よろしくようお願い申し上げます。

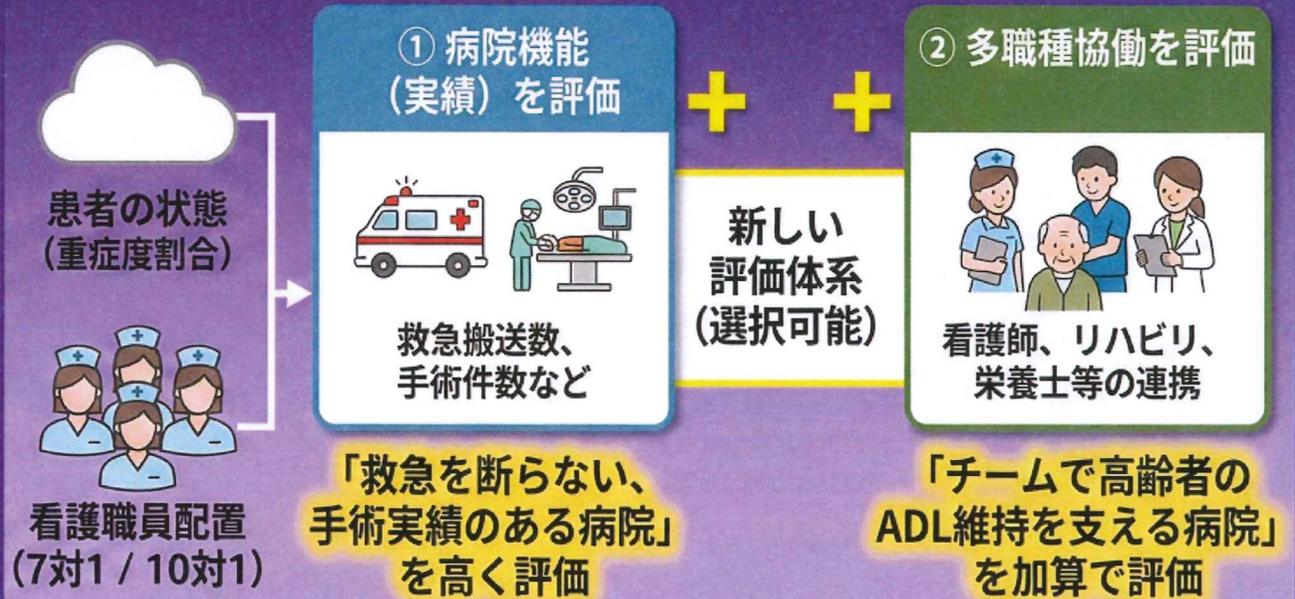
# 令和8年度診療報酬改定：急性期医療の評価、どう変わる？

～「患者の状態」だけでなく「病院の実績と多職種連携」も評価の軸へ～

【これまで】  
患者さんの状態と看護配置が中心



【これから】病院の「実績」と「チーム力」もプラス！



まとめ：病院は自院の機能に合わせて選択可能に。  
「地域を支える活動」がより評価される仕組みへ。